

介護体験を

聞く会



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第188号

平成29年9月20日発行
発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3
電話044-233-0061

*定例会は最終土曜日です。

(今月は9月30日です)

第188回

介護体験を聞く会

平成29年8月26日

(土) デイケア室1階

「議題」

①デイサービスを利用されているYさん93歳女性の経過と課題の検討
家族相談会

②10月28日(土) 29日(日)の文化祭について

出席者(職員) 院長、柳田、柏倉、飯田、吉田、板井、岩瀬、工藤、三浦、漆原、田淵

出席者(家族) 長島さん、中島さん、鈴木さん、柳澤さん、野々目さん、藤田さん、柴山さん、今野さん

「検討の目的」

日中家にいることが多く引きこもりがちだったY

さんの事例を、ご本人参加のもと、直接お気持ち聞きながら今後のケアを考えていきました。

氏名：Yさん本人(女性)

生年月日：大正12年1

1月生まれ(93歳)

介護度：要介護2(9月より)

利用開始日：平成28年

11月5日

出身地：横浜市生麦

趣味：編み物、俳句、生

け花、カラオケ(聞くのは

好き)、映画(洋画)

性格：明るい

主介護者：長女

「既往歴」

高血圧 骨粗鬆症 ペー

スメーカー

「現在の内服薬」

①バップフオー錠10m

g：尿の回数を減らしたり、尿のものを改善する

お薬です。膀胱の筋肉の過剰な収縮を抑える作用があります。

②タケプロンOD錠15

mg：胃酸分泌を強力に

抑え、胃、十二指腸潰瘍

や逆流性食道炎の症状を

改善します。

③重カマ「ヨシダ」：胃酸

を中和して胃、十二指腸

潰瘍、胃炎の症状を便を

柔らかくするので便秘に

用いたりします。

④アイミクス配合錠LD

：長時間作用型ARB、

持続性Ca拮抗薬配合剤

と呼ばれる成分の組み合

わせで血圧を下げます。

「生い立ち」

大正12年：生麦で8人

兄弟の2番目、長女とし

て生まれる。尋常小学校

を出て高等小学校に2年

行き本山の家政科に通っ

たが弟が事故に遭ってし

まった為、親には言わず

半年で退学した。その後、芝浦製作所で働く。24歳の時養女に入り、魚屋で働き結婚。9歳年上の夫は養子に入ってくれた。昭和24年：長男誕生。昭和27年：次男誕生。昭和32年：長女誕生。魚屋の後は寿司屋、居酒屋を切り盛りする。平成15年：夫が他界。現在はお孫さんと暮らしている。近くに長女さんも住んでおられる。

平成28年8月：家にいること多く、物忘れが顕著になってきた為介護保険申請する。平成28年11年：柳田デイサービス利用開始 週2回(火、土) 現在：週3回利用(火、木、土)

「現在のADL(日常生活動作)」
歩行：見守り。屋内は伝い歩き、屋外は杖、歩行器使用。デイのお迎え時は不使用。
排泄：自立。以前はパット使用されていたが、服薬の調整で失禁なし。便秘気味。
食事：自立。義歯は入れず、歯茎で召し上がる。

副食は一口大で提供。入浴：見守り。自宅の浴槽は60cmでまたぐのが困難。
着脱：自立されています。
会話：可能。お話し好き。
理解力：問題ありません。

「利用開始から現在までの様子と対応」

ご利用開始から3ヶ月程は昼食を残される事が多かったですが馴染みができてきたせいかな今ではほぼ完食されています。
血圧の変動があり定期的にバイタル測定を行ってあります。薬の飲み忘れもあり服薬の管理も行っております。

また、入浴時の対応では半身浴+短浴にて行っ

夏の風物詩・スイカ割り



います。
送迎：お迎えにあがる前に事前連絡を入れ準備していただいています。
朝の会：積極的に参加されています。他利用者様の面倒を見たり、声掛けして下さります。
創作：毎回参加されます。外出レクなども参加されています。

〔今後の課題〕

血圧の変動があるので定期的にバイタル測定を行い、体調管理をしていきます。

可能な限り在宅での生活を送る為にデイサービスで筋力の維持（個別機能訓練や体操）をしていきます。

自宅での入浴は難しいのでデイサービスでの安心・安全な入浴を提供し、また、定期的にデイサービスを利用することで外出の機会を増やし、楽しい社会生活を送っていただける様、支援してまいります。

討論会より

柳田：娘さんが来られず本人が参加されています。

娘さんアンケートより：自宅では編み物をしたりTVを見て過ごしています。食事に関しては自分で行き、おかずは娘や兄が時々持つて行っている。起床・就寝時間に関しては分らず自由に過ごしている。

柳田：お話好きな方です。血圧の上がり下がりが激しく、高い時には200近くになり、低い時には100を下回る事もあります。高くなったり低くなったりした時は、特別席に行き、静かに落ち着いて過ごしていただいています。最近朝から血圧は安定していて、皆さんと同じ席で過ごされています。お話では歴史が詳しく、知性の塊みたいな方、地理・世界の地図も頭に入っている。人を非難したりすることはなく、とても優しい方です。Yさん本人：所帯を持ってから魚屋の女将をしていました。料亭に注文を取り、魚の仕入れをする事が主でした。朝は早いけど、帰りは2時、3時とか、注文を取って終われば帰って来ちゃう。

柳田：今は息子さんが居酒屋を営んでいるのですよね。
飯田：アスパラ巻き・トマト巻きとか、お肉を巻いて仕込みを手伝っているんですよ。
Yさん本人さん：ロスが出ないようにバラ肉を継ぎ足してやっている。生きてる内は手伝っていきたい。
柳田：これだけお喋りされているけど、デイサービスが休みの時は自宅でボーっとされている時がある。
飯田：家に居るとTVを見るか、編み物をするか、猫と遊ぶか。
院長：人はやっぱり人と人とが大事だよ。だから、聞いたり喋ったり教えてもらったりしないと。Yさんも色々苦労した事があつたでしょ？
Yさん本人：でもそんな事いちいち引きづってたら楽しい生活できないじゃない。嫌な事は捨てて。
柳田：最初に「胃が痛い」って休んでいたけど。
Yさん：来た時より、痩せてきた。完食しなくなっ

たからよ。来る前はお煎餅食べたり、牡丹餅食べたり。こつちに来てからは、食べないから痩せたんだよ。
柳田：93歳ですけど、耳がとても良いです。目も白内障の手術をしているから、割と良く見えています。個別でリハビリを行っていますけど、股・膝関節が少し硬いから、歩幅が狭いです。転ばず生活できるような訓練しています。
Yさん本人：ペースメーカーが入っていて、先生に「階段から転んだら死んじゃうよ」と言われているから、手すりを絶対に掴んで降りているから転んだ事がない。
飯田：東京オリンピックを見てみたいという目標がある。また、自宅に帰っても役割がきちんとある。
院長：Yさんは必要な存在ですね。
柳田：一人暮らしではなく、孫と一緒に住んでいる事は良い事です。
飯田：毎月、訪問すると1時間は喋っている。
院長：デイサービスに通っていて、何か希望はありますか？

Yさん本人：岡山県出身の方がいるのだけど、地方の話が聞けて凄く楽しい。

家族相談

柳田：長島さんは何十年も発症しなかった気管支喘息や痛風が再発し痛いと言われていたが、どうしてもデイサービスに行くと言っていて、お医者さんに掛かっていた。お医者さんに、湿布と漢方を処方しました。長島：どういう訳か次の日から楽になったと言っていました。処方して頂いた漢方が効いたと思います。
柳田：痛いと言って帰る時なんか抱えられない位でした。
長島：デイサービスに行くのが楽しいですね。
柳田：鈴木さんと中島さんは初めて参加されたかがでしたか？
鈴木：188回も開催しているという事もあり良い勉強になりました。
中島：過去があつて、現在、未来がある。いろいろお話を聞いて自分ももっ

原爆と戦争展



2017年文化祭(三々五々館一階音楽ホール)
第二次世界大戦の真実のポスター・DVD上映など㊤会場

と勉強しなくてはと思います。

＊文化祭について＊

柳田：今年からはデイケアで作品などを展示して、三々五々館で講演を行うという案が出ています。詳細は決まり次第お伝えしていきます。

(デイケア室 工藤)

MCI(軽度認知障害)のチェックリスト

- イ) 何度も同じ話をする
- ロ) 水が出っぱなし
- ハ) 同じ商品を買っていた
- ニ) 「あれ」「これ」で

話す

ホ) 外出が減った

ヘ) 服装などに無頓着

ト) 趣味が楽しめない

チ) 家電操作にまごつく

リ) 小銭を使わなくなった

又) 日付が出てこない

これらのうち3つ該当するものがあれば、MCIが疑われるそうです。

そのときは医療機関で診てもらい、正しい診断を受けましょう。そして確定されたら5つの具体的な生活を送れるように周りの人の助けを借りながらでも実行しましょう。

＊対策項目＊

- (1) 食生活の改善
- (2) 運動不足の解消
- (3) 十分な睡眠
- (4) 人と交流する
- (5) 頭を使うことをする、頭を使う趣味をもつ

認知症サポーター養成講座に参加して

この度、しおん地域包括支援センターの呼びかけにより、グループホーム旭町として認知症サポーター養成講座の開催にあたり共催しませんかとの声かけに地域の「グループホームこでまりさん」と「認知症家族会ひめりんご」と共にやって行く事にしました。川崎区役所地域みまもり支援センターが後援する形で行いました。6月20日から7月7日迄の期間に4ヶ所で行いました。この企画は、相模原の商店街での認知症の見守りに向けての活動記録を新聞で見たとという住民の方から「是非私の地域でも！」の声で実現しました。一般の市民の方が認知症の

病気について正しく理解し、認知症の人がいたら「どう対応したらいいの？」といった疑問に答えられ、今後認知症の人と係わることが出来る人達が増えて行くようにと言う事で、政府が後押しをしている講座です。1時間から2時間の研修を行い、修了者には「オレンジリング」がサポーターのしるしでいただけます。

時々郵便局や銀行に行くとかオレンジリングを手首につけて仕事をしている姿に遭遇する事と思います。

私たち3つの団体は、寸劇と家族会の活動内容が担当でした。6、7分間の寸劇は、認知症のおばあさんとグループホームの職員との設定で「良い対応」「悪い対応」を劇にして行いました。脚本をこでまりさん、認知症のおばあさん役をグループホーム旭町が担い、職員役はこでまりさんの職員さんやひめりんごの会員の人が担いました。最初にははららどきどきで睡眠もなかなかとれない状態でしたが、会を重ねる

内に反応が直にわかり、やり方を変えたりし、最後の旭町1丁目では会場に入れないくらいの方が参加をして下さり苦勞の甲斐があったとうれしく思いました。

常日頃、認知症の方や家族の方と接していると、認知症になる前の状態が気がつけば、こんなに大変にはならなかっただろうなと感じていましたので、5分だけ時間を頂いて、軽度認知障害(MCI)について話をさせて頂きました。この段階で周りの人が気がついて生活環境を変えて行けば50%の人が認知症にならずにすむことも発表する事で学ぶ事が出来ました。1時間という短い時間での認知症サポーター養成講座でしたが、4ヶ所で108名の参加の中で、100名の人が、講座の内容が良くわかったとの回答が有りとてもうれしく思います。初めての経験でしたが、これを機に地域の中に出て行き、多くの方の自分の体験してきたことの伝達をし、地域の方からはいろいろな

疑問や意見を伺うことが出来たと思います。

(柳田居宅 柳田)

「市民ミュージアム訪問」

8月26日、土曜日の午後7名のデイケア室の利用者さんと等々力市民ミュージアムに行つて来ました。川崎の土手沿い(多摩沿線道路)を車で走り30分であつきました。土手沿いにはかつて土手校と呼ばれていた現・総合科学高校を見ながら「こんなに綺麗になったんだね」と懐かしむ声もありました。今は住宅が立ち並んでいますが、昔は家などは殆どなく競馬の馬達の宿舎があり、多摩川沿いを馬が走り馬糞の臭いで満ちていた事を教えて下さいました。

市民ミュージアムに行くのは利用者さんも皆さん初めてですが、私自身も初めてでした。玄関はとても広々とし、車椅子の方も遠慮無く通れる程です。会館内もバリアフリーで至る所に休憩できる椅子が設置されています。

会館内は川崎の昔の歴史が記された物が展示されていました。展示量が多いので今回は民族・原始・古代の展示物までをみて、飲食スペースでひと休憩してから帰途に着きました。

民族の所には米の脱穀をする道具が展示されていて、皆さんが私に目的や方法を教えて下さいました。川崎宿の事も詳しく説明文や縮尺の模型があり、皆さんじっくりと見ていらつしやいました。

いつも傾眠がちのSさんは本物の赤ちゃんにそっくりなお人形を抱っこし、寝ることもなく終始赤ちゃんをあやしながら一緒に見て回る事が出来ました。又Kさんは、なかなか短時間ではじっくり見る事が出来ない為、展示物のテーマに合わせてまとめてある資料をいくつも持ち帰られていました。

老若男女楽しむ事が出来る場所の為、皆さんも一度行かれる事をお勧めします。

柳田デイケア 八馬

『8月17日・18日のスイカ割り』

夏といえば・・・暑い、海水浴、かき氷等色々思い浮かぶ事あると思います。

今回はスイカ割りを行いました。スタッフが運ぶのも大変な大きさのスイカでした。

利用者様一人ずつ目隠しをしていただき、他の方に「右だ」、「左だ」、「もっと前」、「行き過ぎたから後ろ下がって」とサポート

しました。男性が棒を振り下ろすとやはり力があるの

で叩いた音は迫力ありました。立つたまま出来な

い方も椅子に座り参加されて楽しまれ、普段、立位が不安定な方もしっ

かり立つておられました。みんなで叩きましたがなかなか割れず苦労し、目が見えないのって怖いね、スイカの良い匂いするね、様々な感想がありました。子供の頃思い出し楽しかったと仰ってくれて今回のスイカ割りは大成功だと思います。(デイサービス)



会場A



会場B

会場A 柳田診療所一階デイケア室
会場B 三々五々館一階音楽ホール
住所: A 中島1-13-3
B 旭町2-13-19

<Bはミカンの木から歩いて10メートル>

無料戦争展・原爆展・文化祭!

10月28日(土)~29日(日)
9:30~16:30

*** お年寄りは第二次世界大戦の生き証人です。地域の歴史と伝統の継承者で、川崎を復興させたのも今のお年寄りなのです。* 私たちがお年寄りの知恵を継承し、子ども達に地域の豊かで平和な未来を築きましょう。(介護体験を聞く会・柳田診療所)**

①会場
デイケア・デイサービス・グループホーム
作品展 喫茶コーナー
(コーヒー・日本茶・その他)、介護食コーナーと試食相談会
②会場
広島長崎原爆写真展・第二次世界大戦の真実写真展、空襲体験など
広島原爆映画(DVD約30分)
認知症相談会(居宅事務所2階)
メモリアルコンサート
(柳田院長ハモニカ演奏)